

【PRESS RELEASE】

ライチョウの抱卵が始まりましたので、お知らせいたします

那須どうぶつ王国は、環境省と(公社)日本動物園水族館協会が取り組む「ライチョウ保護増殖事業」に参画しており、中央アルプスにおける個体群復活事業に協力しています。6月6日までに、メス4羽の産卵を確認しておりましたが、血統登録番号(以下、N)N128が抱卵を開始しましたので、お知らせいたします。巢内に設置した監視カメラの記録によると、N128は5月25日から産卵を開始したと見られ、6月10日からはほとんどの時間を巢内で過ごすようになりました。その後も、採食以外の時間は巢内に留まっているため抱卵を開始したと判断しました。N128が採食等で巢から離れた際に確認したところ、巢内に9個の卵を確認しました。順調に進めば、7月上旬頃ふ化する予定となります。

今年度は、那須どうぶつ王国のほかに、長野市茶臼山動物園でライチョウ野生復帰を想定した繁殖に取り組んでいます。今後は、順調にふ化・育雛と進めば今年夏頃に、中央アルプスへ野生復帰をさせる予定となっています。

繁殖組み合わせ情報:① オス N11(2016年6月26日生まれ・保険個体)

1-1 メス N129(2021年7月5~6日生まれ・中央アルプスより移送)

1-2 メス N131(2021年7月5~6日生まれ・中央アルプスより移送)

② オス N135(2021年7月5~6日生まれ・中央アルプスから茶臼山動物園に移送)

2-3 メス N128(2021年7月5~6日生まれ・中央アルプスより移送)

2-4 メス N132(2021年7月5~6日生まれ・中央アルプスより移送) 計4つがい

- 4月12日につがいのお見合いを開始しました。
- 5月6日より同居を開始しました。
- N128 5月25日 産卵開始、6月10日 抱卵開始

*画像につきましては、提供いたしますので、ご連絡ください。



那須どうぶつ王国
広報担当 宮地さくら
TEL0287-77-1110
携帯 090-8870-3508